

特定非営利活動法人 生物試料分析科学会 理事長
四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科
高崎 昭彦

平素より生物試料分析科学会の運営、学術活動にご尽力いただき、会員の皆様に感謝申し上げます。

この度、増田詩織理事長の退任に伴い、令和 7 年 3 月に開催されました通常総会ならび理事会に

て理事長に就任することとなりました。生物試料分析科学会は 1978 年に「生物試料分析研究会」としてスタートし、1989 年（平成元年）に「臨床検査分野にとらわれず、広く生物試料の基礎的研究および分析法の開発に関する研究をする。」ことを理念とし設立されました。

2008 年より特定非営利活動法人の承認を受け、臨床検査分野を中心に食品、環境、動物試料などにおける分子生物学的分析も含め、幅広い分野を対象とした学術研究、学術発表の場となっており、現在に至るまで長い伝統を持つ学会になっています。

現在会員数 281 名（2025 年 4 月 1 日現在）、賛助会員 18 社、全国 6 支部で活動しており、各支部主管で年次学術集会も開催されております。2020 年からの新型コロナウイルス感染拡大の影響で対面での開催が難しい時期もありました。しかしプラスに考えると完全リモート、ハイブリッド開催など、新たな学術大会の運営方法も修得することができました。第 31,32 回合同年次集会以降、2025 年に開催した第 35 回年次集会も対面開催をベースに臨機応変にリモート技術も取り入れ、より効率的に運用できるよう進歩しています。

科学、医療の分野は日進月歩で進化しています。さらなる学術的な進歩につながる知見情報の共有が必要となります。本学会の使命を再認識し、本学会の歴史、歴代会長、理事長の御意志を継承しつつ、少しずつ時代にあわせた発展を目指して進めていこうと考えております。また関連する学会や団体との連携を強化し、会員の皆様の更なる知見拡大につながるよう努力して参ります。

引き続き理事会をはじめ、会員の皆様方からのご支援が必要となります。更なるご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2025 年 4 月